

指定第4号 旧狩勝線鉄道遺構群

種別及び名称	種別	有形文化財（建造物）
	名称	旧狩勝線鉄道遺構群
指定年月日	令和2年1月23日	
所在地	北海道上川郡新得町字新得基線157番地（新内第3号橋梁）～字新内643番地（狩勝隧道）旧鉄道用地一帯	
遺構群の概要	<p>遺構群を構成する主な建造物</p> <p>①小笹川橋梁（新内第2号橋梁） ②大カーブ          ③新内沢の大築堤 ④新内隧道          ⑤狩勝隧道</p> <p>その他建造物</p> <p>⑥新内第3号橋梁 ⑦無線鉄塔          ⑧新内第1号橋梁（まりも橋） ⑨落合第20号溝橋          ⑩落合第19号溝橋（石造アーチ）          ⑪落合第18号溝橋（石造アーチ）</p>	
指定の理由	<p>旧国鉄根室本線（落合一新得間：狩勝峠）には、石積みアーチ橋、煉瓦積みアーチ橋、煉瓦積み隧道、石積み大築堤など当時の鉄道輸送に貢献した数多くの土木遺産が現存しており、これらは明治期における北海道の鉄道建設事業を知る上で必要不可欠な歴史的遺産である。</p>	
現 状	<p>狩勝隧道・新内隧道の内部は、天蓋・側壁共に老朽化が著しい状況。ただし、新内隧道の坑門は保存状態が良好であり、現在でも建設当時の意匠を認識することができる。</p> <p>築堤は、新内沢の大築堤・大カーブが残存しており、なかでも大カーブについては、現在でも狩勝峠から当時の面影を展望することができる。</p> <p>橋梁や溝橋については、台風等の影響による洗堀によって、老朽化が進んでいるが、建設当時の姿が残っている。</p>	
その他参考となる事項	<p>平成15年に「大築堤群」「新内隧道」「小笹川橋梁」が土木学会の選奨土木遺産に認定されている。</p> <p>平成21年に経済産業省の近代化産業遺産に「旧狩勝線」として認定されている。</p>	